

大阪工大通信 およど

みらいをつくる つたえる まもる。
大阪工業大学
OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

編集・発行/学生部学生課

〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1

E-mail: OIT.Gakusei@joshu.ac.jp

Tel: 06-6954-4651 Fax: 06-6951-7760

およどWebsite (本号をはじめバックナンバーをアップ)
<https://www.oit.ac.jp/japanese/public/magazine.html>

OIT Website▶<https://www.oit.ac.jp>

大阪工業大学通信

およど No.284

2023年3月

CONTENTS

P2

卒業生に贈る言葉

P3~6

卒業生特集

P7

アイスホッケー部

日本学生氷上競技選手権大会
(1stディビジョン) 出場 ほか

P8

大学院の奨学金制度について

強く、かつ、 しなやかな心を持って

皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。3年以上にわたるウイズコロナの学生生活の中、さまざまな困難を乗り越えて学修や研究活動に注力され、この日を迎えられることに深く敬意を表します。

さて、現在は将来の予測が困難な時代と言われています。そのような時代を生き抜いていくには、環境の変化があっても自分の行動規範がぶれない心の強さ、うまく事が運ばなかった際に他の方法を考えるためのしなやかさが必要となります。このような力は、社会へ出られた後、常に知識を更新しながら、経験を積み重ねていくことにより自然と身につけていきます。大学で学んだ知識は、皆さんがこれから社会で生きていくための基礎の一部であるという認識のもと、仕事に生きがいを見出し、自己研鑽に励んでいただきたいと思います。

ご存知のように、本学は昨年10月30日に学園創立100周年を迎えました。建学の精神に基づいた実践的教育を受け、社会へ巣立たれた開拓者精神にあふれた諸先輩は11万人を超え、本学の発展はそのような方々の活躍によるところが極めて大きいと言えます。

大阪工業大学の遺伝子を持つ皆さんがそれぞれの分野で活躍し、後輩のバックアップや本学のさらなる発展にご貢献いただけることを心より願っています。

社会へ出られた後も、皆さんはさまざまな困難に直面することになるでしょう。その際には本学で学んだ誇りと自信を胸に事にあたると同時に、諸先輩や同級生の意見を聞いてみることも重要です。「強く、かつ、しなやかな心」を持ってこれからの人生を歩んでください。

健康にはくれぐれも留意され、活躍されますことを祈っています。



大阪工業大学 学長 井上 晋

卒業生に 贈る言葉



副学長(教育・研究改革、学生支援、産学連携担当)

岡山 敏哉

社会の変化に対応できる人になってください!

ご卒業・修了おめでとうございます。最近よく聞く言葉に Society 5.0やDiversity 2.0があります。前者は仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムで社会的課題を解決する社会を指し、後者は特に経営的視点から使われる言葉ですが、働き方に大きく影響します。いずれもこれからの皆さんの生活環境に関係しますが、その変化は激しく、対応能力が問われます。皆さんの今後のご活躍を心から祈っています。



学長補佐

佐野 睦夫

既成概念にとらわれず 物事の本質を見る力を!

ご卒業・修了おめでとうございます。この数年で、オンライン授業や就職活動など大学生活が一変し、働き方も大きく変わり、産業構造も変革が求められています。このような変化の時代であるからこそ、既成概念にとらわれず、直感的に物事の本質を見抜く力を鍛えてください。それには、新しいことに興味を持ち、チャレンジし経験してください。きっと、夢ある未来を切り拓くことができると思います。皆さんのご活躍を祈念しています。



工学部長
(研究科長兼任)

森實 俊充

素晴らしい未来があなたに訪れますように

ご卒業・修了おめでとうございます。コロナ禍により社会環境は大きく変わりましたが、これから社会に出ていく皆さんにとって、学生時代にこの変化を乗り越えた経験はかけがえのないものとなるはずです。社会は常に変化しています。良いことも悪いことも次々起こります。今後もこの社会の変化に順応しながら、立派に活躍されることを楽しみにしています。「禍福は糾える縄の如し」皆さまの素晴らしい未来を祈念しています。

ロボティクス&デザイン工学部長
(研究科長兼任)

井上 明



一歩ずつ前に!

ご卒業・修了おめでとうございます。皆さんの学生生活に大きな影響を与えた、コロナ禍での社会の様子も少しずつ変わってきました。「明けない夜はない」。困難に直面しても夢と希望を持ち明るい未来を信じて、一歩一歩前に進んでください。必ず皆さんの将来は素晴らしいものとなることでしょう。すぐそこに皆さんの新たな人生のスタートを照らす新しい光が見えてきています。社会で活躍する皆さんの姿を梅田からいつも応援しています。



情報科学部長
(研究科長兼任)

塚本 勝俊

あなたの輝く未来に向けて

ご卒業・修了おめでとうございます。昨今の不安定な情勢の中、新しい価値を創造し、社会の持続的発展を牽引する人として皆さんはますます期待されています。まずは保証人の方々、これまでご支援くださった方々に感謝の意をお伝えください。大学・大学院で学んだことはもちろん、プロジェクトや課外活動で培った考える力と創造力、そして最も大学を満喫できる時期にコロナ禍という逆境を乗り越えてきた経験は、これからの皆さんの仕事や生活の中でかけがえのないベースとなります。新しい技術や社会の変革が速度を上げて登場してきます。これまで以上に新しい知識や考えを吸収し、どんな困難も切り開ける力に磨きをかけてください。未来にわたって輝く皆さんに期待しています。

知的財産学部長
(研究科長兼任)

杉浦 淳



知的財産で世界の明日の扉を開く皆さんへ

ご卒業・修了おめでとうございます。大学・大学院で過ごした楽しい多くの大切な思い出を胸に、新社会人として元気よく羽ばたかれることと思います。

社会に出た後、主役は皆さん自身です。常に笑顔を保ち、感謝の心を忘れず、困難に立ち向かってください。必ず何とかなります。

皆さんが学んだ知的財産は、世界の明日を創り、社会の発展と人の幸せに貢献する力です。全てから学び、信じることに従って歩き続けてください。若い人は驚くほど成長します。母校は永遠に皆さんの応援団です。皆さん一人一人のご活躍を心から祈念しています。

卒業生特集



大学生活で得たこと



文化会

写真研究部
工学部 生命工学科

重政 彩花

就職内定先

ピアス株式会社

合宿での新しい発見

1年次のときに参加した合宿は特に印象的な思い出です。高校の部活動とは違って、行き先を決めることから宿泊先や飛行機の予約まで多くのことを学生が主体となって行っていたのが新鮮でした。合宿中はみんなカメラを手にしてたくさんの写真を撮影します。そこで、カメラの面白さにより気づくことができました。



夏は北海道、春は大分県へ行きましたが、どちらの合宿も撮影した写真を今でも見返すくらい充実していました。

城北祭のオンライン写真展

コロナ禍のため2年生以降の部活動では、学外で定期的に行っていた撮影会や写真展の開催も難しくなり、今の自分にできることは何かと考える機会が増えました。そんな中で行われた第72回城北祭(2020年度)では写真研究部はオンライン写真展という形で参加しました。いつもは印刷した写真を額縁に入れて展示していたのがスマホやパソコンのモニター越しに鑑賞できるという、また違った面白さを見出すことができた写真展でした。

大学生活の思い出

引退時期に行う写真展の開催が例年より遅かったため、部活動に並行して就職活動を行っていました。就職活動で大学生活の話をする際には写真研究部の活動について話題になることが多かったです。コロナ禍での部活動は、制限もあり大変でしたが、楽しい思い出もたくさんできました。またこうして写真展や撮影会を行える日がきてよかったと思います。



日々精進



体育会

剣道部
知的財産学部 知的財産学科

中町 領

就職内定先

兵庫県警察

人脈の大切さ

私は幼いころから現在まで剣道を続けてきました。大学でも剣道をしたいと思い、課外活動特別推薦入試を受験し入学しました。大学では、高校生の時に成し遂げることができなかった、全国大会出場を目標に剣道に励みました。そして2021年に悲願の全日本学生剣道優勝大会(団体)に部として17年ぶりに出場することができました。この出場には様々な人が関わっており、部員全員は勿論ですが、大学やOBの先輩方の支援で成り立っていることを再確認することができました。そして、剣道部を通じて、様々な人との繋がりがあつたことを実感し、色々な人と関わる中で、剣道だけではなく、人としても成長することができたと思いました。

日頃の感謝

剣道の練習は一人ではできないので、共に練習してくれる部員に感謝する気持ちを常に持ち続けました。そして、日々の生活で誰かに支えられながら生活していることを実感し、日頃から感謝の気持ちを忘れずに行動をすることを心がけました。このことは自分の気持ち一つでいつまでも続けることができるので、就職して社会人になってからも誰かに支えられているという気持ちを忘れず、日頃から感謝の気持ちを言葉にしていきたいと考えています。



公務員合格を目指して

私には憧れる人物がいます。それは幼いころから剣道を教えてくださった警察官の先生です。厳しさと優しさを兼ね備えた姿は私の憧れであり、このような人物になりたいと思い、その頃から警察官を目指すようになりました。夢を実現させるために、大学では剣道で基礎体力をつけるとともに、資格サポートセンターの公務員対策講座を受講して受験勉強に励んだ結果、兵庫県警察官採用試験に合格することができました。

挑戦し続けた4年間



プロジェクト

学生フォーミュラプロジェクト
工学部 電気電子システム工学科

阿部 秀俊

就職内定先

株式会社SUBARU

学生フォーミュラ公式記録会完走

2021年度の学生フォーミュラ公式記録会で完走できた瞬間が大学生活の中で一番印象に残っています。私達が1年生のときは、走行中にマシントラブルが発生し完走することができませんでした。また、2020年度は新型コロナウイルスの影響を受け大会が中止になり車両を走らすこともできませんでした。作上げた車両が走りきったとき一生懸命やってきた3年間が肯定された気がして感極まったのを未だに忘れることができません。



新たなことに挑戦し実現する体験

学生フォーミュラの活動を通して、新たなことに挑戦し実現する体験をすることができました。私の代では車両に大幅な変更があったことや、コロナ禍により十分に設計製作の時間が取れないといった状況に大変苦労しました。時間がないなか確実に車両を完成させるために、問題が発生した場合を常に想定して行動することの大切さや、チームのみんなや先輩と連携し問題を解決するといった体験をすることが出来ました。



世の中にもっと安全で楽しい車を

4月から念願だった車を作る仕事に携わることになりました。私はそこで安全で楽しい車を作ることが出来ればと考えています。大学在学中に得た経験や知識がどこまで通用するか不安な気持ちもありますが、漠然と今後の糧になるかなと思っています。社会人になっても新たなことに挑戦する勇気を忘れず今後も頑張りたいと思います。

6年間の学び、そして未来へ



留学生

工学研究科 電気電子・機械工学専攻
博士前期課程 電気電子工学コース

リチャード オンコ

就職内定先

Japan Advanced Semiconductor
Manufacturing株式会社

留学生生活の意義

日本に留学したきっかけは自分を磨き、視野を広げたいからです。来日した当時は心細かった時期もありましたが、多くの方がサポートしてくださったおかげで、本日まで学修を続けることができました。勉学に励んでいるうちに、高技術で自分を磨くだけではなく、人付き合いが大事ということに気がきました。自分の意見を主張し、他人の意見を尊重する姿勢を保つことが、どの教材よりも勉強になることを実感し、成功し続ける鍵になると考えています。大阪工業大学の6年間で培った専門知識とコミュニケーション力はこれから社会で活躍するための大変貴重な経験です。

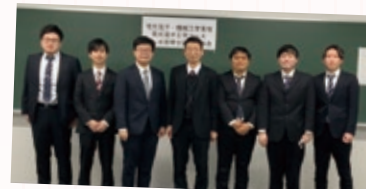
ロボットプロジェクトの思い出

大阪工業大学に入学した当初からロボットプロジェクトのレスキューロボットチームに入りました。救助活動のロボットには迅速かつ正確な動きの制御が必要です。私はロボットの周辺環境を感知するためにカメラやセンサーなどを使用しモーターと連動させ、自律ロボットの作製に携わりました。ロボット作製には多くの課題がありましたが、チーム全員で互いに支え合い意見交換をすることで課題をクリアし、チーム一丸となって第19回レスキューロボットコンテストでレスキュー工学大賞を受賞しました。



ロボットから半導体業界、そして未来へ

ロボット作製には半導体が欠かせないということに気づき、半導体に興味を持つようになりました。私は最先端の半導体技術を学ぶために大学院に進学し、研究活動に没頭する毎日を送り、新しい半導体の候補材料を探求して基本物性から応用の可能性まで明らかにしました。4月からは社会人として働き、これまで学んできた技術で高品質な半導体デバイスを生み出し、社会に貢献できるエンジニアになりたいと思います。いずれは、母国のインドネシアでベンチャー企業を立ち上げ、経済発展への貢献はもちろん、日本との架け橋になりたいと思います。



成長できた4年間



梅田キャンパス

ロボティクス&デザイン工学部
空間デザイン学科

上北 真也

就職内定先

YKK AP株式会社

数多くの知識と教養



大学生活では建築についての知識だけでなく一般教養や学生の間にしかできない体験など、様々な知識と教養を身につけることができました。アルバイトや建築を見に行く旅行、やったことのない娯楽の体験などなど…。色々なものに興味を持ち多くの友人と新しいことにチャレンジすることができたため、とても有意義な4年間を過ごすことができました。

人間的に成長できる期間

就職活動は自分の人生を決める大きな分岐点となります。周囲と比べて劣等感や不安を感じることもありましたが、自分自身のやりたいことや、やりたい社会人像を見つめ直すいい時間になりました。自分の考えだけでなく友人の考えや社会人の方々から色々な意見を聞き、その中で自身でできるだけの準備を行うことができれば納得のいく就職活動ができると思います。

他人から信頼される人

他人から信頼される社会人になりたいです。私は仕事においてもプライベートにおいても他人から信頼されるような人にとっても魅力を感じます。仕事では他人から頼りにされ柔軟な対応ができ、プライベートでは無駄な時間を減らし多くの人と時間を共有できる人になりたいです。そのために様々なことに興味を持ち一つ一つをよく考えて行動したいと思っています。



集団の中での自分



枚方キャンパス

北山祭実行委員会
情報科学部 情報知能学科

窪田 皓介

就職内定先

株式会社関電システムズ

学園祭実行委員会

私が学園祭実行委員会に入った理由は大学の案内をしてくれた先輩に憧れたからです。そんな些細なきっかけでしたが、私の大学生活を大きく変えました。なんとか貢献しようと積極的に行動した結果、委員長に選ばれてかけがえのない仲間と貴重な経験ができました。コロナ禍で大変だった分、学園祭を開催できたときの達成感には忘れられません。支えてくれた仲間、学園祭を通じて関わった全ての人に感謝しています。



コロナ禍での考え方

2年次から委員長を務めることになりましたが、早々にコロナウイルスが蔓延し、従来の学園祭の形を変えることを余儀なくされました。しかし、2年次では学園祭が中止になり、3年次でも企画書がなかなか通らず心が折れかけていました。そこで、色んな人と話し合いを重ね、今の環境でできることを考え学内者のみでの開催に変更しました。環境のせいにして諦めるのではなく、今できることを考える良い経験だったと思います。

集団の中での役割

学園祭実行委員会での活動を通して、チーム内で考えを共有することが重要であると感じました。リーダーとメンバー両方を経験したことで2つの視点からでは見え方が違うことを理解したからです。リーダーの時はなるべく行動の意図を説明し、メンバーの時には疑問に感じることに質問するように心がけています。春からは社会人として求められていることを考え、どんな役割でも活躍できる人間になっていきたいです。



卒業生特集

大学生活で得たこと



大学院生

工学研究科 電気電子・機械工学専攻
博士前期課程 機械工学コース

木下 大輝

就職内定先

ローム株式会社

成長の糧

とても多くの学びを得た大学生活でした。特に、プロジェクトや実習など、グループで一つのことを製作するといった活動は大きな経験になりました。製作中は納期に追われ、ミスが頻発し、思いもよらない苦勞もしました。ものをつくることの楽しさや難しさなど身をもって体験できたと思います。こうした成功や失敗を経験することで大きく成長できました。



優先順位を決める

就職活動では、まず自分が何を優先したいかを決めるべきです。やりがいや勤務地、給与など、一度自分の都合だけを考えて、どういったところで働きたいかを決めると、あまり悩まず就活を進めることができました。就活の時期は意外と早く過ぎてしまうので、早めに自身の希望をはっきりさせ、応募する企業を決め、予定を立てておくことをおすすめします。

技術者として働く

せっかく大学院まで進学したので、これまでに学んだことを活かす仕事ができるようになりたいです。入学前は特に何かをしたいという考えはなく、機械工学科に入学したもののそのままでものづくりが好きというわけではありませんでした。しかし入学後、いろいろと勉強をしているうちにいつの間にかものづくりが楽しいと思うようになりました。そういった楽しいと思えることを仕事に、技術者として働いていきたいと思っています。



工学部の強みや魅力をPRする 工学部紹介動画を YouTubeで公開しています

キーワードは「超」。

<就職が「超」強い、ものづくりが「超」楽しい、支援が「超」手厚い>

教育・就職・資格・経済支援などに関する本学が提供している支援の紹介に加え、学生にキャンパスでの学修活動等のインタビューや撮影を行い、自身が本学で成長を実感したエピソードなどを交えながら説得力の高い動画になるよう力を入れました。

インタビューには学部生や大学院生の就職内定者や、学生プロジェクト参加学生のほか、教員志望者や教育センターの学修支援担当学生など、多様な学生が登場しています。

なお、YouTube以外にも各学科のInstagramやTwitterなどのSNSで授業や研究室の取り組みなどを発信していますので、是非ご覧ください。



工学部の強み



学生インタビュー

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLd7o7dVhnKHJPpt1yH3Y2jMlzNWPI5aJr>



「奈良県川上村PRコンテンツ 制作プロジェクト」の表彰式を開催

1月17日、情報メディア学科3年生が制作した奈良県川上村をPRする動画コンテンツの優秀作品の表彰式を開催しました。

この取り組みは同学科のPBL授業の一環で実施しており、映像・音声・音楽・文字などを組み合わせたマルチメディア技術を駆使したコンテンツづくりを通して、社会のニーズに応える実践的な技術力を体得するとともに、地域活性化に役立てることを目的としています。今年度で11年目を迎え、計93の作品の中から同村スタッフ为中心となって優秀作品を選出しました。

金賞に選ばれたのは、「シカのオリジナルキャラクターを用いて川上村の楽しさと『しないでください』のメッセージを上手に伝えている」と評価を受けた岩元日向花さん(IM3)の作品「川上村のかくかくシカじか」。源流ツーリズムの概要や守ってほしいことを簡潔に分かりやすく伝えるアニメーションとなっています。岩元さんは「ツーリズムによるゴミ問題などを伝えつつ、村の魅力を伝えられるコンテンツになるよう工夫しました。こんなにも評価されるとは思っていなかったので、うれしいです」と喜びを語りました。

本学と同村は、2010年7月に包括連携協定を締結しています。同村の豊かな自然環境、地域資源を生かし、今後も「環境共生」に取り組む人材育成を目指した、さまざまな活動を展開していきます。



豊崎中学校の防災訓練に 協力しました

11月19日、大阪市立豊崎中学校で行われた防災訓練にロボティクス&デザイン工学部が協力しました。倉前宏行教授(ロボット工学科)、大須賀美恵子教授(システムデザイン工学科)、学生3人がものづくりデザイン思考実践演習Ⅰの課題を通じて制作した3Dコンテンツを使って「災害への備えと避難生活」について説明しました。これは、本学と大阪市北区との連携事業の一つである「地域防災に係る取り組み」の一環で、同校生徒約180人が参加しました。



豊崎中学校防災訓練への協力は今年で2年目



真剣な眼差しで説明に聞き入る生徒たち



災害対策を丁寧に説明する様子

北区の避難所に収容できる人数は区の人口の5分の1で、災害発生時には在宅避難を余儀なくされる状況になります。そこで学生らは、自室を3Dカメラとデジタルツイン技術を用いてバーチャル上に再現。通常時と震災後の2パターンのコンテンツを制作し、大型家具の固定方法や用意しておくべき防災グッズなどを紹介しながら、在宅避難の方法を解説しました。学生は「コンテンツの完成度にも自信があり、多くの生徒が積極的に操作してくれて嬉しかったです」と振り返りました。

▶ 使用した3Dコンテンツはこちらから体験できます

通常時

<https://my.matterport.com/show/?m=tkKKdWxgFXJ>



震災後

<https://my.matterport.com/show/?m=ekw3TPTXngw>



漕艇部に新たな艇が仲間入り!!

12月22日、漕艇部の新艇(舵手なしフォア)の命名式が大宮キャンパス第二部室センター漕艇部艇庫前で行われ、同部部員のほか、学内関係者および同部OB会の役員など約30人が出席し、大宮神社の神主を招いて、荘厳な雰囲気の中で新艇の安全祈願が行われました。

新艇は、水面を颯爽と駆け抜けて、心新たに飛躍を遂げたいという思いが込められ、イタリア製であることからイタリア語で音楽用語の「軽やかで優美に」という意味を持つ「Leggiero(レジェーロ)」と名付けられました。

また、今回の新艇購入にあたり、OB会のメンバー多数から募金が寄せられて、新艇購入が実現しました。漕艇部には、艇に込められた思いを胸に、日々の練習やトレーニングに取り組み、インカレでの上位入賞など、ますますの活躍を期待したいです。



ビジネスアイデアコンテストで 近畿経済産業局長賞を受賞

1月29日、近畿経済産業局主催「知財ビジネスアイデア学生コンテスト」本選が開催され、本学の知的財産研究科の3チームが、以下の各賞に輝きました。

近畿経済産業局長賞

チーム「CREATE ONE」

『シニアを笑顔に!!』

～シニアと大学生を趣味で繋げるプラットフォームビジネス～

審査委員特別賞

チーム「得ッコワーク」

『フードロス削減に向けたキャンパスクーポン配布・広告ビジネス』

敢闘賞

チーム「LINK@home」

『農家レストランの運営 ～人と人の繋がり×防災×社会復帰～』

コンテストは3部門に分かれ、10大学から大学生・大学院生等の20チームがエントリー。①企業等が保有する特許技術、②学生発案のデザイン、③近畿の地域ブランドに基づいた商品やサービスのビジネスプランを競い合いました。今回の応募条件は、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」に関連する社会課題を解決する事業アイデアであること。本選に進出した7大学11チームがユニークなビジネスアイデアを発表し、会場を盛り上げました。



ビジネスアイデアコンテスト受賞チーム

アイスホッケー部 日本学生氷上競技選手権大会 (1stディビジョン)出場

12月20日～25日に第95回日本学生氷上競技選手権大会[アイスホッケー部門](新横浜アイスアリーナ他)が開催されました。本学にとっては初の1stディビジョン出場ですが、惜しくも初戦の日本体育大学に敗退となりました。

今年のチームは、関西学生氷上競技連盟のリーグ編成に伴い1部リーグでの戦いとなり、強豪大学との試合が続きました。今までとは違うレベルの試合を重ねることで、新たな経験と課題が生まれ、チーム力の強化にも繋がりました。

主将の長谷川稜真さん(P4)は、「関西の上位大学や全国の強豪大学との差はまだまだあり、今まで以上に努力をしないと差が埋まらない。大変なことがたくさんあるけど、感謝と楽しむ気持ちを忘れずに、2022年の悔しさを糧に、来季の更なる飛躍を期待します!」と後輩に向けたメッセージを送ってくれました。



試合の円陣



大学院の給付制奨学金が充実しています！

本学では学生が積極的に勉学に励み、充実した学生生活を送ることができるよう、特に学内進学者向けに、独自の給付制奨学金を整備しています。これら奨学金は勉学に意欲があり、それにふさわしい能力を持った学生の経済的困難を支援するものです。

特に「大学院入学前予約採用型給付奨学金」は原則として、「学内進学者入学選考」および知的財産学部は「早期進学」の入学者も援助する制度で、大学院生を強力にサポートしています。

【大学院の主な奨学金】 学内進学者に限定。いずれも給付制奨学金。

奨学金の種類	大学院 入学前予約採用型給付奨学金		大学院 グローバル人材奨励給付奨学金		大学院 特待奨学金	
	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程	博士前期課程	専門職学位課程
給付額 (年額)	【学科内成績最上位者】 (1年次)57万5千円 (2年次)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次)37万5千円 (2年次)30万円	【学科内成績最上位者】 (1年次)60万円 (2年次)50万円 【学科内成績最上位以外の者】 (1年次)40万円 (2年次)30万円	20万円		年間授業料の 全額相当額 (102万円)	年間授業料の 全額相当額 (123万円)
採用資格	本大学院所定の入試(※1)により合格した学生で、 学業・人物ともに優秀と認められる者		本学の学内進学者および 学内進学した在 student で、 TOEICスコアが所定の点数を満たす者(※3) ただし英語を母国語としていない者 (過年度実績:550点)		学部3年次までの成績が極めて優秀で、 経済的理由のため就学が困難と認められる者で、 TOEICスコアが所定の点数を満たす者(※3) (過年度実績:450点)	
採用定員	採用資格を有する者		採用資格を有する者		原則、各学科1人	
給付期間	2年間 (継続審査無し)		1年間 (在学時1回限り)		2年間 (1年次末に継続審査あり)	
出願について	入試出願時に合わせて出願(※2)		4月にポータルサイトに案内		被推薦者は本学所定の入試(※1)を受験すること	

※1 博士前期課程は学内進学者入学選考、専門職学位課程は学内進学者入学選考または、早期進学による所定の入試を示す。

※2 専門職学位課程の早期進学者については、12月にポータルサイトに案内(予定)。

※3 公式認定証/スコアレポートの提出が必要です(得点は変更される場合があります)。オンライン実施分は対象外です。

◆上記のほか、テラサキ奨学金(工学研究科電気電子・機械工学専攻電気電子工学コースのみ対象)があります。

◆博士後期課程の奨学金についてはHPをご参照ください。

◆奨学金制度や金額は変更することがあります。

学生相談室 だより

変化の季節に想うこと

学生相談室カウンセラー 平子 侑里絵

3月で卒業・修了される皆さん、おめでとうございます。まだ学生生活が続く皆さんにとっても、学年が変わる節目の季節ですね。3月から4月にかけてというのは、1年で一番変化が大きい時期ではないかと思えます。新しい学年、新しい生活の始まりに、どんな想いを抱いているでしょうか。

来年のことを言えば鬼が笑う、ということがあります。意味は、「未来のことは予測できない。それを言うのは気が早いと、からかいの気持で言うことば」。つまり予測できない未来のことをあれこれ言うと、鬼が面白がって笑うのだそうです。未来に何があるのか、私たちは誰も知ることができません。だからつい先のことを期待したり心配したりします。特に環境が変わるときには、どんな人に出会うだろうか、自分の力が発揮できるだろうか、心配事はつきませんね。もしもその心配がどんどんふくらんで、どうしようもない気持ちになったときは、今鬼が笑って見ているなんて思ってみるのはどうでしょうか。赤鬼でも青鬼でもいいでしょう。そんな鬼がニヤッとしたらどんな顔かとか、そんなことを想像してみてください。そして、明日や、もっと先の未来のことではなく、今の自分に立ち戻って考えてみましょう。ゆっくり息をして、その息の感覚や、身の回りの音、見える景色を意識してみてください。なんだかお腹がすいてるなとか、ちょっと肩が凝ってるなとか、そんなことにも気が付くかもしれません。そうすると、とりあえず何か食べようか、あるいは疲れているからお風呂に入って寝ようかと、今やれることが見つけやすくなります。未来はそんな今この瞬間の積み重ねにあります。変化の大きな季節だからこそ、たまには立ち止まって、今この瞬間の自分にも目を向けてみてくださいね。

工大流就職支援 59

～就職NEWS～

2月15日～28日(期間中8日間)、2024年卒学生(学部3年生、大学院1年生)を対象にした「オンライン学内合同企業説明会」を実施しました。卒業生が多く在籍し工大生に対する採用意欲の高い企業から293社の参加がありました。延べ2,203人の学生が参加し、各社の説明に熱心に耳を傾けていました。事業内容や製品の強み、職種についての理解を深め、積極的に質問する姿もありました。企業の方と直接話し、さまざまな業界や企業の情報を得ることができる絶好の機会になりました。

ここから本格的に、2024年卒学生の就職活動がスタートします。3月1日以降も随時「単独企業説明会」など就職活動支援行事が続いていきます。学生の皆さんのキャリアに関すること、就職活動に関する質問や相談など、些細なことでも気軽に就職課を訪ねてください。お待ちしております。

